

こんにちは、「低音デュオ」と申します。僕たちは歌の松平敬（声域はバリトン）、チューバと古楽器のセルパンを吹く橋本晋哉の二人による低音同士のユニットです。地味な感じがしますね？そして中世・ルネサンス時代の音楽と、現代の音楽という両極端の音楽を主なレパートリーとしています。ヘンなユニットなんです。

この一風変わった編成のために、この十年間いろんな作曲家に新曲を書いてもらいました。有難いことに皆さんは面白がって、あの手この手でこの編成からは想像もつかないような音楽を書いて下さいました。ナンセンスな天気予報や水玉のコレクション、その他低音をめぐる作曲家との冒険。11月24日、とっても低くて少しヘンな音楽に触れませんか？

低音デュオ

歌の松平敬と、チューバ奏者の橋本晋哉によって2006年に結成、今年で11年目になる現代音楽ユニット。こんなに地味な編成なので早晩レパートリーも枯渇して解散になるだろう、と即物的に「低音デュオ」と名付けてしまったが後悔はしていない。30曲を超える現代音楽の初演、再演に加え、古今東西の様々な二声楽曲に果敢に挑戦している。2015年にアルバム『ローテーション』をリリース2018/4/25に第10回演奏会を予定。

teionduo.net

松平敬（バリトン）

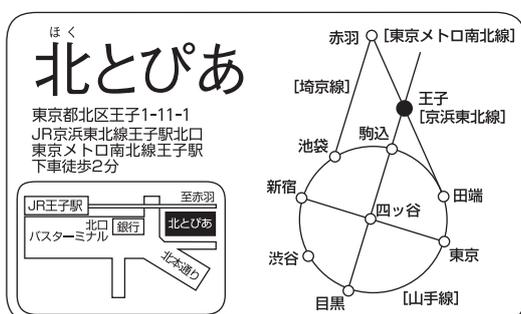
東京藝術大学卒業、同大学院修了。現代声楽曲のスペシャリストとして、松平頼暁、湯浅譲二、西村朗など100作以上の新作を初演、シュトックハウゼン、クセナキスの演奏至難な作品もレパートリーに持つ。サントリー芸術財団サマーフェスティバル、東京オペラシティ財団コンポーザムなどに出演。ソロCDとしてこれまで、多重録音による一人アカペラを駆使した『MONO=POLI』（平成22年度文化庁芸術祭・優秀賞）、『うたかた』、『エクステンデッド・ヴォイセス』を発表。現在、聖徳大学、文教大学講師。

matsudaira-takashi.jp

橋本晋哉（チューバ、セルパン）

チューバ奏者、セルパン（16世紀フランス由来の古楽器）奏者。サントリー芸術財団サマーフェスティバル、東京オペラシティ財団コンポーザム、HIROSHIMA HAPPY NEW EARで協奏曲のソリストを務めるほか、「秋吉台の夏」現代音楽セミナー、東京オペラシティ「B→C」、NHK-FM「名曲リサイタル」、「リサイタル・ノヴァ」にソリストとして出演。洗足学園音楽大学非常勤講師。低音デュオの他、現代音楽ユニット「東京現音計画」（第13回佐治敬三賞受賞）、邦楽器古楽器混合アンサンブル「アンサンブル室町」で活動。

shinyahashimoto.net



北とびあ国際音楽祭アドバイザー

上坂樹（ジャーナリスト）、中村恵一（前・公益財団法人 ロッテ財団 理事）、
沼野雄司（桐朋学園大学音楽学部教授）、広瀬大介（青山学院大学文学部教授）